

日本 IPR 研究会主催：

# 第7回「人間関係学」学習会



われわれはどこから来たのか  
われわれは何者か  
われわれはどこへ行くのか  
Paul Gauguin

今年の学習会は、情報通信技術(ICT)の急速な発展にともなう現代社会の人間関係の変化と、対人援助の本質である〈ケア〉にフォーカスした2部構成で進めます。人事、教育、営業、医療、看護、福祉、カウンセリングなど人と関わる分野で仕事をなさっている方々や学生・大学院生の皆さんはもちろん、ひろく人間理解・人間関係に関心と懊悩のある方であればどなたでもご参加いただけます。多くの方のご参加をお待ちしております。

日本 IPR (アイピーアール) 研究会とは 日本 IPR 研究会は心理学者・早坂泰次郎(立教大学名誉教授・故人)を中心に 1970 年に創設された人間関係学の研究・実践機関です。当研究会では人間関係を特に人と人との本当の関係と言う意味であえて IPR(Inter-Personal Relationship、人格間関係)と呼んでおり、その学問的研究と、人間関係を深く学ぶ体験学習として T グループ形式による IPR トレーニングを行っています。

現在、当研究会の代表は関西福祉科学大学教授、畠中宗一が務め、IPR トレーニング経験者が主体的に運営にかかわっています。

- 開催日程： 2018年8月18日(土) 10:00~17:00 (開場9:30)
- 会場： TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター (JR東京駅より徒歩5分)
- 学習会： 第1部 「ICT社会と人間関係」を考えるミニ・シンポジウム  
話題提供 小川 憲治 氏 (神奈川県産業保健総合支援センター)  
織田 孝裕 氏 (登校拒否文化医学研究所)  
水戸部 賀津子 氏 (昭和女子大学)  
指定討論 畠中 宗一 氏 (関西福祉科学大学)
- 第2部 「ケアの本質」から、他者の自己実現を助ける関係性を考える  
講師 牧野 智恵 氏 (石川県立看護大学大学院看護学教授)
- テキスト： 第1部 『ICT社会の人間関係と心理臨床(仮題)』8月刊行予定  
小川憲治 織田孝裕 編著(川島書店)
- 第2部 『ケアの本質 ~生きることの意味~』  
ミルトン・メイヤロフ著/田村 真・向野 宣之訳(ゆるみ出版)

※ お持ちでない方は、申込の際に事務局まで。コピーをお送りします。

- 参加費： 4,000円 (昼食弁当代1,000円含む 当日受付にて)
- 申込締切： 2018年8月9日(木)
- 定員： 40名
- キャンセルの場合： 8月14日(火)迄にご連絡下さい。それ以降は弁当代1,000円を申し受けます。

参加ご希望の方は、①当研究会ホームページの申込欄から申し込む ②裏面の申込書に記入してFAX  
③裏面の申込書の内容をメールに書き込んで送信 のいずれかでお申し込み下さい。宛先は以下の通りです。

「日本 IPR 研究会」事務局(担当：登坂恵)

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 2-11-12-307 TEL/FAX: 047-333-2366

URL: <http://www7a.biglobe.ne.jp/~ipr/> email: [ipr@trad.ocn.ne.jp](mailto:ipr@trad.ocn.ne.jp)

## 学習会概要

### ■ 第1部 「ICT社会と人間関係」を考えるミニ・シンポジウム

現代社会におけるインターネット、スマートフォン（スマホ）、PCの進展と普及はめざましいものがある。ICTの普及のおかげで、インターネット検索、オンラインゲーム、LINE、Twitter、FacebookなどのSNSや、Instagram、Twit Castingなどのアプリの普及により、大変便利な世の中になってきた。その一方で、スマホ依存、ネットいじめ・炎上、人間関係の希薄化、豊かな対話（FTF（face to face コミュニケーション））の衰退などの弊害も深刻化しつつあると言っても過言ではない。

第一部担当者は、全員 IPR トレーニングを体験した臨床心理士であるが、これらの ICT 社会の人間関係の問題はすなわち臨床現場における対人関係の問題としてとらえ、これまで各々の臨床現場から見える現状をわかちあい論議を重ねてきた。

この「人間関係学」学習会では、「ほんとうの人間関係」を問いつける参加者の皆様と FTF で、上記の問題について意見を交換し合い学びを深めていきたい。

### ■ 第2部 「ケアの本質」から、他者の自己実現を助ける関係性を考える

当研究会で大切にしていることは人と人とのほんとうの人間関係である。日常の中では、そのような関係性は時には「うるさく」「厳しすぎる」と感じられる場合があるのではないだろうか。特に、現代社会では、親子関係や友人関係が、SNS や携帯などといった便利な伝達方法の中で当たり前過ぎて日常の中で、親との関わり、教師との関わり、また、看護師や医師と患者の関わりの中で、他者の成長のためと思えば思うほど、そのかかわりは疎ましく、今でいう「めんどくさい」関わりと思われがちである。しかし、どのような時代においても、親が子を思い、教師が子供の成長を願って関わることに違いがない。そして、その関係性の中で、互いに人間としての成長がある。今回取り上げた「ケアの本質」は、一応は哲学・心理学・医療・教育に関連する分野の書物のようなものであるが、私は本書には、IPR で大切にしている他者への専心の思い、かかわりが書かれていると思った。本書の序、I 章、II 章を皆さんと読み進めながら、本書でいう「ひとりの人格をケアするとは、最も深い意味で、その人が成長すること、自己実現を助けること」とは、どうかかかわりをいうのか、対話ができればと思います。

## スケジュール

09:30	集合/受付	第2部	
10:00~10:30	概要説明/自己紹介	14:00~15:30	ゼミナール
第1部			
10:30~12:00	ミニ・シンポジウム	15:30~15:45	休憩
		15:45~16:45	ゼミナール
12:00~12:45	昼食/休憩	16:45~17:00	振り返り
12:45~13:45	質疑応答・討議	17:00	終了
13:45~14:00	休憩	18:00~	懇親会（希望者）

\*ゼミ終了後に、会場近くの居酒屋で懇親会を予定しております。お時間のある方はぜひご参加ください！

## 「人間関係学」学習会 参加申込書 F A X 047-333-2366

お名前		日本 IPR 研究会は、参加者の個人情報（住所等）を、その参加者への資料の送付および今後の研究会活動の案内のためにのみ利用します。	
住所	〒	懇親会参加について	参加 ・ 不参加 (別途参加費 4,000 円予定) ※どちらかに○をしてください。
電話番号	TEL	資料（コピー）送付希望	<input type="checkbox"/> 第1部 <input type="checkbox"/> 第2部 ※必要な方は <input checked="" type="checkbox"/> チェックして下さい。
メールアドレス (連絡先)			